

Mリンシステム製品一覧 取扱説明書 & 作物別施肥基準



食べる健康  美味しいは安全[®]

Mリンシステムとは



=葉作り、茎作り（窒素肥料）



=根作り、花実作り（リン酸肥料）

を使い分け、天候に左右されずに、高品質と多収穫を実現する栽培技術です。

独自の土壌環境の改善と施肥方法を駆使し、安全で持続的な農業を実現します。



が付いている資材は100%有機原料で出来ています



ミズホ

過リン酸石灰発酵資材

Mリンカリン エム



NET 2kg

微生物発酵菌資材

1ケース(2kg×10袋)

※商標登録:第1594900号

肥効力向上

●Mリンカリンとは

過リン酸石灰と塩化加里と米ヌカを混合し、常温発酵させて発酵リン酸肥料を作る微生物資材です。Mリンカリンで処理すると、リン酸の吸収量を増加させ、効率良く、速効的にリン酸を吸収させることができ、資材効率を大幅に高めます。

●Mリンカリンで発酵したリン酸肥料【MリンPK】の効果

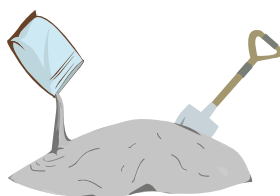
- ①発根促進 ②光合成促進 ③窒素過多の改善 ④着花結実の促進
⑤着色、糖度の向上 ⑥耐病性の強化 ⑦秀品率の向上 ⑧日持ち向上

Mリンカリンの使用法 (自家製MリンPKの作り方)

原材料名	標準型の配合割合
Mリンカリン	2kg(1袋)
過リン酸石灰(粒または粉)	100kg(5袋)
塩化加里(粒または粉)	10kg(半袋)~20kg(1袋)
硫酸マグネシウム	0kg~30kg(1.5袋)
米ヌカ	5kg

●熟成期間について

原材料を配合したのち、
積算温度200~300℃(20~30日)以上で
常温発酵させます。
発酵期間が長いほど、リン酸の肥効が高まります。



配合



配合の
コツ

量が少ないものから順に
混合していくとムラなく混ざります

MリンPK (1セット当たり)
＜出来上がり量117~157kg＞



袋にもどし熟成・保存
(積算温度200~300℃)

注:密封状態にしないこと!

配合のポイント

●加里要求の高い作物は、塩化加里を20~30kgに増量して下さい。施設等で加里過剰の圃場では、塩化加里を5kgに減量して下さい。

●更なる食味や着色の向上、及び果菜類や果樹への施用をする場合は、硫酸マグネシウムを10~30kg混合して下さい。

●MリンPKは、長期間の熟成がより一層効果的です。1年以上の熟成で、さらに効果が高まります。

●混合時に、水分の補給は必要ありません。

●熟成期間中は、切り返しの必要はありません。

※Mリンカリンを開封後は早めに使い切して下さい。

※MリンPKを熟成、保存する場合は袋や容器等に入れたままでも良いですが、密封するのは避けて下さい。保管する場合は、雨の浸入や直射日光を避けて下さい。

発酵リン酸肥料

MリンPK



NET 20kg

発酵リン酸肥料
(粒)

※肥料登録:生第75891号



発根促進

花芽分化
促進

食味向上

● 効果

リン酸を効率良く根から植物体内に吸収させます

● 施肥方法

- ①全層施肥 ②畝間施肥
- ③水に溶かしてカン水施肥
- ④流水施肥(水田)

● 保証成分量(%)

リン酸 全量	内可溶性 リン酸	内水溶性 リン酸	加里 全量	内水溶性 加里
15.0	14.9	12.5	4.0	4.0

スーパー MリンPK



NET 12.5kg

発酵リン酸肥料
高濃度タイプ(粒)

※指定配合肥料



発根促進

花芽分化
促進

食味向上

● 効果

発酵リン酸肥料MリンPKの濃縮タイプです。本品1袋(12.5kg)はMリンPK(20kg)とほぼ同等の肥効です。

● 施肥方法

MリンPKと同様です。(左記参照)

● 保証成分量(%)

リン酸 全量	内可溶性 リン酸	内水溶性 リン酸	加里 全量	内水溶性 加里
24.0	24.0	20.0	9.0	9.0

MリンPK マグ



NET 15kg

苦土入り発酵リン酸肥料
高濃度タイプ(粒)

※肥料登録:生第105131号



発根促進

花芽分化
促進

食味向上

● 効果

スーパーMリンPKに苦土を加えた発酵リン酸肥料です。本品1袋(15kg)はMリンPK(20kg)とほぼ同等の肥効です。

● 施肥方法

MリンPKと同様です。(上記参照)

● 保証成分量(%)

リン酸 全量	内可溶性 リン酸	内水溶性 リン酸	加里 全量	内水溶性 加里	水溶性 苦土
20.0	19.9	17.0	8.0	8.0	8.0

液肥用リン酸肥料

MリンPK 液肥の素



NET 2kg

発酵リン酸肥料
(粉)

※肥料登録:生第73872号



徒長防止

花芽分化
促進

食味向上

● 効果

果菜類等の糖度・着色を向上させ、窒素過多や日照不足時の生育促進に優れた効果を発揮します。

● 施肥方法

本品を水に溶かして、カン水チューブ等でカン水するか、カン注して下さい。

● 保証成分量(%)

アンモニア性 窒素	水溶性 リン酸	水溶性 加里	水溶性 苦土
4.0	30.0	6.0	5.0

✂空散用リン酸肥料

空(ソラ)リン



NET 500g

発酵リン酸肥料
(粉)

※肥料登録:生第108325号



徒長防止

同化促進

食味向上

● 効果

同化促進により、収量増、品質向上に効果があります。

● 施肥方法

本品を水に溶かして、ドローンやヘリコプターで散布して下さい。

● 保証成分量(%)

アンモニア性 窒素	水溶性 リン酸	水溶性 加里	水溶性 苦土
2.5	20.0	4.0	3.5

空リンは農薬との混用散布が可能です、以下の点に注意して下さい

- 混用できる農薬は水和剤(フロアブル、ゾル含む)です乳剤との混用は避けて下さい
- 混用できるのは本品の他、農薬1剤までです
- 希釈する水はpHが中性域の水を使用することをお勧めします
- 散布方法は機体の取扱説明書に準じて下さい
- 多くの農薬と混用できますが、少量で混用テストを行いご確認の上でご使用下さい

土作りの基本資材

バクヤーゼ



NET 1kg

有機物発酵菌資材

1ケース(1kg×20袋)

※商標登録:第3013692号



有機物発酵

土作り

● バクヤーゼとは

有機質材料を発酵処理する好気性菌主体の微生物資材です。高温で発酵することにより、有機物中の有害物質を分解し、短期間で良質な堆肥やボカシ肥を作ることができます。

● バクヤーゼの使用目的

バクヤーゼで作った堆肥やボカシ肥を施肥することで、未熟有機物の有害な作用を防止し、土壌の有効菌が増殖して土壌病害や障害を軽減できます。また、バクヤーゼで作った堆肥の投入により土壌環境の改善や丈夫な根作りなど、健全生育を実現するための手助けとなります。

● バクヤーゼによる土中堆肥化の方法

圃場に残存する有機物	バクヤーゼ	米ヌカ	鶏フン(有機N源)	土中堆肥化の方法(10a当たり)
稲ワラや稲株	1kg(1袋)	30kg	60~100kg	バクヤーゼ+米ヌカ+鶏フン(またはバクヤーゼK)を収穫を終えてから早いうちに全面散布し、作付けまでに数回耕起します。
麦ワラや麦株			100~150kg	
緑肥や作物残さ			60~100kg	



良質堆肥の作り方

(堆肥原料1t当たり)

原料別炭素率
と必要窒素量▶

- ①バクヤーゼ半袋(0.5kg)、米ヌカ20~30kgと、堆肥原料に合わせた有機態窒素(発酵鶏フン等)を準備します。
(有機態窒素の量は右表参照)
- ②バクヤーゼと米ヌカを混合します。
- ③②で混合した材料と有機態窒素、堆肥原料をサンドイッチ状に堆積しながら、水分を50~60%に調整します。
- ④高さ1.5~2.5mに積み上げた後、すき間が多い場合は上から鎮圧します。
- ⑤酸素供給(切り返し)を行います。
夏期:10~20日おき 冬期:20~30日おき
- ⑥熟成期間 : ワラ、モミガラ:1~2ヶ月
バーク、オガ粉:4~6ヶ月

原料	炭素率	(原料1t当たり) 必要窒素量	乾燥鶏フン量
ワラ	60	約3kg	約100kg
モミガラ	150	約6kg	約200kg
バーク	400	約16kg	約500kg
オガ粉	600	約24kg	約800kg

堆積例



土作り資材

バクヤーゼ堆肥



NET
20kg

バクヤーゼ発酵
高品質完熟堆肥
※特殊肥料



団粒化促進

地力維持向上

土壌病害軽減

● 効果

広葉樹種100%の炭素率の高い原料を使用し、バクヤーゼで完熟まで発酵処理した良質堆肥です。土壌腐植が増大し、土壌環境の改善、有効微生物群の増殖にとても効果的です。

● 基本使用量 (10a当たり) 100~150袋(2~3t)

バクヤーゼK



NET
15kg

有機物の土中堆肥化資材
(粒・ペレット)
※特殊肥料



収穫残さ分解

ボカシ肥

土壌病害軽減



● 成分分析値(%/現物当たり)

成分分析値は、各工場により異なりますので袋に表記されている分析値をご確認ください。

窒素	リン酸	加里	苦土	石灰
3.0~4.0	4.0~5.0	2.5~4.0	1.2~1.5	4.5~20.0

● 基本使用量(10a当たり)

畑 作		稲 作	
残さ処理	10~20袋(150~300kg)	高地力(粘土地)の水田	3~5袋(45~75kg)
ボカシ肥として使用	10~30袋(150~450kg)	低地力(砂地)の水田	5~7袋(75~105kg)

● 効果

様々な有効菌の働きで、畑作の残さや稲ワラ、稲株を強力分解し、腐植化することでガス害を軽減します。また、アミノ酸やミネラルが豊富に含まれており、畑作、稲作での食味向上を目的としたボカシ肥としても使用できます。

土壌病害対策資材

Mイーシー



NET 10kg

除塩・連作障害対策資材
1ケース(10kg×2袋)

※肥料成分は含まれておりません

● 効果

有効微生物群を活用した資材です。有効菌を増殖させて、土壌が原因で起こる障害を軽減させます。

● 使用量(10a当たり)

通常時
作付け10~15日前までに本品1袋(10kg)と米ヌカ60kgを混合して全面散布後、耕起します。
連作障害、高EC等発生時
作付け10~15日前までに本品2袋(20kg)と米ヌカ60~120kgを混合して全面散布後、耕起します。 連作障害時にはミズホ式土壤まるごと発酵法が効果的です。



土作り

除塩

土壌病害予防

● 特徴

● 土壌病害対策

放線菌、乳酸菌、細菌、酵母菌などの有効菌群の働きにより病原菌の繁殖を抑制します。

● 高塩基障害対策

有効菌が、土壌養分(酸基や塩基)を吸収し、塩類濃度を減少させます。

● いや地現象対策

前作物の根から排出された老廃物を分解または吸収し、作物の栄養分に再合成します。

● pH矯正

微生物による緩衝能力により、pHを矯正しながら正常化します。

太陽熱とバクヤーゼ菌で高温消毒!!
Mイーシーが悪玉菌の動きを抑えます!!

消毒薬を使わずに連作障害を軽減する技術

ミズホ式土壤まるごと発酵法

● 作業工程

- ①左表の使用資材すべてを全面散布して、土にすき込みます。
- ②土壌中の水分が、60~70%(握ると軽く固まる程度)になるまで、十分に時間をかけてカン水します。(通常は一晚くらい)
- ③十分にカン水した後、古ビニールなどをかぶせ約20~40日間かけて蒸し込みます。この時カン水に使用したチューブは、そのままにしておきます。水分が不足しないように時々確認し、不足した時はカン水して水分を調整します。

★カン水にはバイオ根助およびキトチンキを1000倍液に薄めた水を使用すると、更に効果が高くなります。

※バクヤーゼK 10~20袋はバクヤーゼ1~2袋+乾燥鶏フン150~300kgで代用できます。

使用資材	10a当たり使用量
Mイーシー	1~2袋(10~20kg)
バクヤーゼK	10~20袋(150~300kg)
炭資材(くん炭等)	100~200kg
米ヌカ	60~200kg
完熟堆肥	3~5t
カン水時に混ぜて使用(10a当たり)	
バイオ根助	1本(20ℓ)
キトチンキ	1本(3ℓ)

ボカシ肥

MB動物有機ペレット

動物質有機の
ボカシ肥(ペレット)
※指定配合肥料



NET 15kg



生育促進

食味向上

● 効果

動物質有機原料100%を使用しており粗タンパクが豊富であるため、肥効が長続きます。アミノ酸、核酸、ミネラルが豊富で、作物のうま味を引き出しますので、果菜類や果樹類の栽培にお勧めです。

● 基本使用量(10aあたり)

元肥: 10~40袋(150~600kg)

● 保証成分量(%/現物当たり) | 成分分析値

窒素全量	リン酸全量	加里全量	C/N比
3.0	5.0	4.0	9.0

新ぼかし大将

好気性発酵
ボカシ肥(粒)
※特殊肥料



生育促進

食味向上



NET 15kg

● 効果

100%有機原料。バクチャーゼとサンレッドで発酵しています。寒冷地や低地温でも、力強い肥効を実現。有機由来の栄養分が豊富に含まれています。

● 成分分析値(%/現物当たり)

窒素	リン酸	加里	苦土	石灰
3.0~4.0	4.0~4.5	3.5~4.0	1.2~1.5	4.5~5.5

● 基本使用量(10aあたり)

元肥	果 菜 類	20~40袋(300~600kg)
	葉菜・根菜類	10~30袋(150~450kg)
	豆 類	5~15袋(75~225kg)
	花 卉 類	10~20袋(150~300kg)
	果 樹 類	15~30袋(225~450kg)
	稲 作	3~6袋(45~90kg)

有機入り配合肥料

バランスパワー

発酵有機質入り配合肥料(粒状)
※特殊肥料入り配合肥料



NET 15kg

● 効果

5大栄養素と豊富な微量元素をバランスよく配合した肥料です。初期は化成窒素の素早く強い肥効、中盤からは発酵有機質肥料のじんわりとした肥効がありつつも、リン酸吸収率の良いMリンの効果で徒長を抑制します。

● 保証成分量(%)

窒素全量	アンモニア性窒素	リン酸全量	水溶性リン酸	内加里全量	内水溶性加里	苦土全量	内水溶性苦土
10.0	9.0	8.7	6.3	5.5	4.5	1.0	0.8

● 基本使用量(10aあたり)

元 肥	
果 菜 類	7~25袋(105~375kg)
葉 菜 類	6~23袋(90~345kg)
豆 類	3~13袋(45~195kg)
根 菜 類	4~20袋(60~300kg)
稲 作	1.5~4.5袋(22.5~67.5kg)
追 肥	
果 菜 類	1~4袋 10~15日おき
葉 菜 類	3~4袋 1~2回
豆 類	0~3袋 15日おき あるいは着莢後
根 菜 類	0~4袋 根部肥大期
稲 作	1~2袋 2~3回

アミノ酸液肥

新アミビタ1号

有機原料100%
アミノ酸液肥
※肥料登録
長崎県第596号



NET 20kg



生育促進

食味向上

● 効果

果菜類などの実の肥大、樹勢の維持に最適です。動物有機100%液肥なので、多種類のアミノ酸を含有し、糖度を上げる等の食味向上に役立ちます。

● 基本使用量(10aあたり)

アミビタゴールドver5と同様です。

アミビタ ゴールドver5

有機原料100%
アミノ酸液肥
※肥料登録
宮城県第614号



生育促進

食味向上



NET 20kg

※流動性が良いので点滴カン水にも使用できます

● 保証成分量(%)

窒素全量
6.0

● 効果

消化吸収の良いアミノ酸により、天候に左右されことなく、バランス良く生育を促進します。また、旨味成分の効果により、収穫物の味が濃厚になります。

● 基本使用量(10aあたり)

カン水: 半~1箱(10~20kg)/回
カン注: 1~2箱(20~40kg)/回
※水稲では穂肥時に1/4~1箱(5~20kg)を流水施肥します。

発根促進資材

キトチンキ



NET 30L



↑ 更に詳しく

発根促進、葉面保護、活着促進
資材(高濃度キトサン液)

1ケース(30L×6本)

活着促進 土壌病害軽減 害虫忌避

●効果

- 有効微生物群(特に放線菌)の増殖を促進させ、悪玉菌の繁殖を抑制します。
- 植物内部の免疫力を高め、耐病性と抵抗性を強化し、外敵から植物を守ります。
- 土中では、キトサンオリゴ糖となり、選択的に有効微生物の繁殖を促進させます。
- 葉面施用では、葉面に保護膜を作り、外敵の侵入を防ぐ働きがあります。

●使用方法

●葉面保護 300~600倍液を3~10日おきに2~4回葉面散布します。

※キトサンとは カニ殻から抽出したキチン質により精製されたものです。キトサンには、植物を活性化させる力があり、生長促進効果があります。また、作物の自己防衛機能を高めるので、耐病性が強化されます。

サンレッド



NET 300ml



↑ 更に詳しく

冷水田、低温障害、ガス害対策資材
(高密度タイプ光合成細菌)
1ケース(300ml×12本)

ガス害対策 低温対策 土壌病害軽減

●効果

ガス害の予防、根腐れの改善、発根力の強化、土中バクテリアの活性、光合成の促進などの効果があります。

●使用方法(10aあたり)

稲:ガス害予防・冷水田対策
1/3本(100ml)~2/3本(200ml)を流水施肥します。

バイオ根助



NET 20L



↑ 更に詳しく

発根促進・有効菌繁殖促進資材
(高純度木酢液)

発根促進 活着促進 土壌病害軽減

●効果

高純度の木酢液で、有効菌(善玉菌)の活性を促進させ、発根障害を改善する効果があります。

●使用方法

●発根障害の防止
500~1,000倍液を散水、またはカン水に使用します。

育苗資材

苗上手アクセル



NET 5.0kg

NET 600g

●保証成分量(%)

窒素	リン酸	加里	苦土
8.0	3.0	3.5	1.0

生育促進資材
1ケース(600g×30本)
1ケース(5.0kg×4本)

※肥料登録:生第106175号

生育促進 葉色向上 低温対策

●効果

生長促進・葉色向上液肥です。苗上手ブレーキとの併用で、生育調整が可能です。苗の生育の遅れを解消し、葉に厚みが出ます。

●使用方法

●水稻苗
葉齢1葉期から生育に応じて200倍液を苗箱1枚当たり300~500mlの量で1~2回カン水します

●野菜苗
本葉1葉期から生育に応じて400倍液をカン水します。

成分の性質上、沈殿物が発生することがあります。ご使用になる前によく振ってから施肥して下さい。

苗上手ブレーキ



NET 5.0kg

NET 600g

●保証成分量(%)

窒素	リン酸	加里	苦土
1.0	12.0	5.2	1.0

徒長防止資材
1ケース(600g×30本)
1ケース(5.0kg×4本)

※肥料登録:生第106176号

発根促進 徒長防止 高温対策

●効果

徒長防止、発根促進液肥です。苗上手アクセルとの併用で生育調整が可能です。リン酸、有機酸の効果で徒長を防止して、太く丈夫な苗に仕上げます。また、速効的な効果がありますので、急激な天候不良による苗の徒長対策にも有効です。

●使用方法

苗上手アクセルと同様です。(左記参照)

成分の性質上、沈殿物が発生することがあります。ご使用になる前によく振ってから施肥して下さい。

耐病性強化資材

リーフアップバリア



NET 50L

NET 500ml

耐病性強化資材
※1ケース(500ml×12本)
1ケース(50L×4本)
徳用20L

同化促進 害虫忌避

●効果

軟弱徒長・過繁茂・天候不順時の生育活性材です。高濃度有機酸が植物の代謝を促進させ、品質を向上させます。曇雨天や過湿の時はもちろん、葉面散布の補助材として幅広く活用できます。

●使用方法 ●健康促進

300~500倍液(5~7日おきに連用)
<軟弱・育苗期:500~1000倍液>

リーフアップV2



NET 50L

※1ケース(50L×4本)

害虫忌避

●効果

天然素材を配合した害虫食害軽減材です。



↑ 更に詳しく

●使用方法

300~500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

●障害発生時

100~200倍液を1~2日おきに2~3回葉面散布します。

リーフアップV3



NET 50L

※1ケース(50L×4本)

カビ対策

土壌病害対策

発根促進

●効果

キトサン、木酢等を配合した耐病性強化資材です。



↑ 更に詳しく

葉面散布材

Pフォスタ



NET 1kg

リン酸と苦土
の
相乗効果!!

リン酸・苦土補給
着果・結実・糖度・着色促進
1ケース(1kg×20袋)



徒長防止 同化促進 食味向上

●効果

窒素過多の解消(プレーキ役)・着果(着花)促進・着色促進・糖度向上・軟弱徒長の改善、日照不足対策に効果があります。葉面や茎からのリン酸の吸収率が高い資材です。

●使用方法

●育苗時

徒長防止と根量増加に800~1,000倍液を2~3回葉面散布します。

●生長時

500~700倍液を2~3日おきに2~3回葉面散布します。

リーフアップCa/Mg

石灰・苦土補給
1ケース(1kg×20袋)



NET 1kg

●成分 設計値(%)

水溶性 石灰	水溶性 苦土
10.0	10.0

尻腐れ対策 芯腐れ対策

ふち腐れ対策

●効果

石灰欠乏による障害の予防に効果があります。苦土欠乏にも有効です。

●使用方法

●石灰・苦土欠乏

400~500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

●尻腐れ・芯腐れ・ふち腐れ対策

500~600倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

●着色・糖度向上促進

300~600倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

リーフLA

リキッド アミノ



NET 3kg

葉面散布用アミノ酸液肥
1ケース(3kg×6本)

※指定配合肥料 岐阜県届出



生育促進 樹勢回復 旨味向上

●効果

アミノ酸が入った低臭タイプの葉面散布材です。葉肉を厚く、色つやを良くします。実の肥大促進、光合成の促進、樹勢強化、なり疲れ、栄養失調防止と回復に効果があります。

●使用方法

●樹勢低下・生り疲れ防止

500~800倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

●育苗時の追肥・定植時のドブ漬け

800~1,000倍液をカン水します。

●保証成分量(%)

窒素
6.5

分析値(%)

リン酸
0.49

リーフアップA



NET 1kg

アミノ酸・リン酸・微量要素補給
1ケース(1kg×20袋)

※肥料登録:生第86134号



徒長防止 発根促進 生育促進

●効果

有機栄養源と微量要素が配合されています。葉面散布だけでなく、カン水使用で活着を促進します。

●使用方法

●分化期後

500~700倍液を3~5日おきに葉面散布します。

●保証成分量(%)

窒素	リン酸	加里	苦土	マンガン	ホウ素
3.0	11.0	7.0	3.0	0.1	0.5

リーフアップN



NET 1kg

生育促進・肥大促進・樹勢回復
1ケース(1kg×20袋)

※肥料登録:生第105168号



生育促進 樹勢回復 肥大促進

●効果

生育促進(アクセル役)・初期生育の促進・実の肥大促進・生り疲れ対策・樹勢維持等に効果があります。

●使用方法

●生長時

500~800倍液を3~5日おきに、2~3回葉面散布します。

●保証成分量(%)

窒素	リン酸	加里	苦土	マンガン	ホウ素
15.0	3.0	2.0	2.0	0.5	0.2

リーフSG



NET
200g×5袋

多糖類配合活性材
(プルラン・トレハロース)

1ケース(200g×5袋×20セット)



蒸散防止 霜害対策 葉面保護

●効果

葉面を保護し、乾燥、凍結、萎れ対策に役立ちます。また、展着材としての効果もあります。

●使用方法

●葉面の保護

1,000倍液を葉の裏面を中心に噴霧します。状況を見ながら連日、または3~5日おきに連用します。

リーフアップM+(エムタス)



NET
20g×10袋

微量元素葉面散布材

※1ケース(20g×10袋)×20セット

※肥料登録:生第106226号

微量元素欠乏予防 生育促進

●効果

不足しがちな微量元素を葉面から速効的に吸収させて生体内酵素を活性化します。

●施肥方法

ミズホの葉面散布と一緒に2,000倍液以上に薄めて葉面散布します。

●保証成分量(%)

水溶性 苦土	水溶性 ホウ素	水溶性 マンガン	鉄	銅	亜鉛	モリブデン
10.0	10.0	2.0	0.22	0.21	0.21	0.10

Mリンシステムのポイント

用途に合わせた有用微生物群を活用し、
土壌環境と生育を安定させます

有効微生物と堆肥による土作りと、ボカシ肥
による安定した肥効を活用し、生育を強める
アクセルの役割を担います。
また、土壌病害やガス害の解消にも
有効微生物を活用します。

状況に応じた葉面散布と補助
資材で生育を速効的に調整します

生育促進・抑制、生育充実、病虫害対策
の4つを担う葉面散布と、根圏を活性化
させる補助材で、生育の援助を行います。

微生物

生育
アシスト

リン酸

効くリン酸で、適期にリン酸を吸収
させて生育バランスを整えます

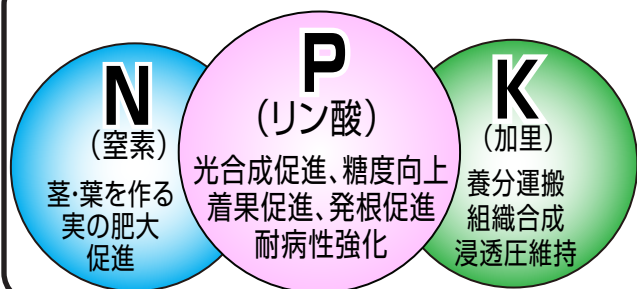
リン酸を適期に効かせる技術で、
十分にリン酸を効かせて生育を
抑制し、生殖生長へ向かわせるブレ
ーキの役割を担います。
適期にリン酸を効かせることで耐病
性の強化及び食味向上の効果があり
ます。



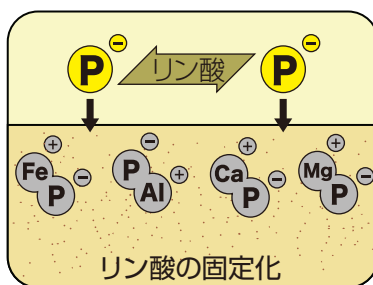
高品質で多収穫

肥料の特性

三大要素のそれぞれの働き



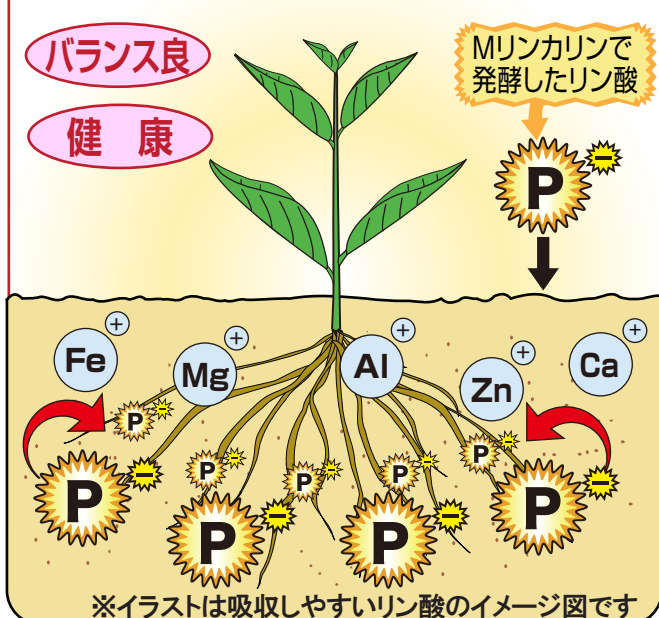
リン酸が効かない原因は



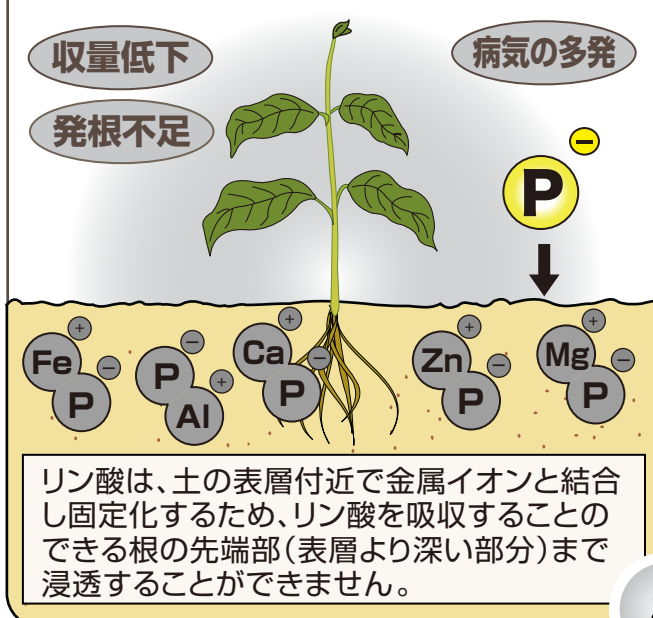
肥料分は水に溶けて作物の根から吸収
されますが、リン酸（一イオン）は土中の
金属イオン（アルミニウム・マグネシウム・
カルシウム等の＋イオン）と結合して、
水に溶けにくくなります。このように
リン酸と金属イオンが結合することを
『リン酸の固定化』といい、これによって
作物は吸収できなくなってしまいます。

Mリンカリンでリン酸の吸収量がUP!

吸収しやすいリン酸



吸収できないリン酸



作物別施肥基準

水稻

10a 当たり

元肥

	暖地	寒冷地	極寒地
MリンPK	20～30kg	20kg	20kg
硫安	0～15kg	10～20kg	20～40kg

硫安の代わりに有機の窒素分として、バクヤーゼK 3～6袋(45～90kg)でも代用可

追肥

稲の状態を見ながら追肥して下さい



ミズホ葉色板 (ミリ単位目盛り付き)

※葉色の目安を測定するときは
ミズホ葉色板
をご利用下さい



ご購入はオンラインショップまで。
(お問合せ先は裏表紙参照)

①調節肥(出穂45～30日前)

	大きくならない	葉が45度に立ち 元気モリモリ!	窒素過多で葉が 垂れて色が濃い
生育状況			
	肥料切れ	標準	過繁茂
葉色の目安	コシヒカリ等		
	3.5～4.0	4.0～4.5	5.0以上
多収米等コシヒカリ以外	4.0～4.5	4.5～5.0	5.5以上
施肥量	MリンPK 10～20kg	MリンPK 0～20kg	MリンPK 20～30kg
	硫安 3～6kg	硫安 0～5kg	—

②穂肥(出穂25～18日前)

●第1穂肥

暖地	MリンPK 尿素	20kg 4～6kg
寒冷地	MリンPK 硫安	20kg 8～12kg

●第2穂肥(第1穂肥から5～10日後)

暖地	MリンPK 尿素	20kg 4～6kg
寒冷地	MリンPK 硫安	20kg 5～8kg

★コシヒカリは、幼穂が10mm前後の時、
その他の品種は2～3mmの時に第1穂
肥を施肥して下さい。

流水施肥

MリンPK・アミビタ類・
硫安・尿素等が使用できます



①田全体に深さが1cm
前後になるように
水を張ります。



②水を流し込みながら
MリンPKを水口から
投入します。

※硫安などを同時期に
投入する場合は、最初に
MリンPKを投入して下さい



③肥料投入後も水を流し
込み続け、水深が
10～15cmになったら
止水します。

※止水が早いと肥料ムラの原因に
なります

水管理

食味・収量・倒伏の有無、イモチ病
の発生を大きく左右します

①田植え20～30日後に落水。田の全体が軽く
ひび割れるまで田を干し、根に有害なガスを
放出すると共に、土に酸素を補給します。

②その後は間断カン水を行い、根圏に酸素を
供給し、発根性を高めます。

※サンレッド100～200mlを流水施肥すると、根腐れや
根痛みを軽減します。粘質田や湿田などのガスが発生
しやすい田や、水管理の難しい田では大変有効です。

出穂45日前の姿



Mリン栽培
倒伏の危険無し



慣行栽培
過繁茂で倒伏の
危険大

「ビカリ」

10a 当たり

[illegible]

① 発肥で倒伏防止をしたい場合に追肥
② 発肥で葉色が5.0～5.5以上の場合や食味向上を狙う場合に追肥
③ 発肥で葉色4.0～4.5以下の場合に追肥

果菜類

★「アミビタA液肥」はP12下段参照

10a当たり

ナス、キュウリ ピーマン、オクラ など

元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK 30~40kg
MB有機シリーズ 400~500kg
尿素 20~30kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥 1回当たり

■カン水施肥 アミビタゴールド^{ver5} 20~30kg
(または★アミビタA液肥 10~30ℓ)
※収穫初め頃より7~10日おき 収穫最盛期3~7日おき
MリンPK液肥の素 2~3kg

■置肥 (1ヶ月おき) MリンPK 30~40kg
MB有機シリーズ 60~75kg
硫酸マグネシウム 10~20kg

■カン注施肥 (20日おき) アミビタゴールド^{ver5} 20~40kg
(または★アミビタA液肥 10~40ℓ)
MリンPK液肥の素 2~4kg
※500ℓの水に薄めて使用します。

トマト、イチゴ

元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK 30~40kg
MB有機シリーズ 200~300kg
尿素 0~10kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥 1回当たり

■カン水施肥 (3~10日おき) アミビタゴールド^{ver5} 2~4kg
(または★アミビタA液肥 10~20ℓ)
MリンPK液肥の素 2~4kg

■カン注施肥 (20~30日おき) アミビタゴールド^{ver5} 20~30kg
(または★アミビタA液肥 10~20ℓ)
MリンPK液肥の素 2~4kg

スイカ、メロン ウリ、カボチャ など

元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK 20~40kg
MB有機シリーズ 150~250kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥 1回当たり

時 期	 開花5~10日前	着果促進 Pフォスタ500倍液を 2~3日おきに 2~3回葉面散布します。
	 肥大期 メロン:ピンポン玉大 スイカ:卵大 カボチャ:卵大	肥大促進 アミビタゴールド ^{ver5} 20~30kg (または★アミビタA液肥 10~30ℓ) MリンPK液肥の素 2~3kg
	 収穫15~20日前	糖度向上 MリンPK液肥の素 3~4kg Pフォスタ 500倍液を 2~3日おきに 2~3回葉面散布します。

ウリ類など

■カン注施肥 (20日おき)
アミビタゴールド^{ver5} 30~40kg
(または★アミビタA液肥 15~40ℓ)
MリンPK液肥の素 3~4kg
※500ℓの水に薄めて使用します。

※寒冷地の元肥
MリンPK 20~30kg
MB有機シリーズ 300~350kg

根菜類

10a当たり

ジャガイモ

元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK 20~40kg
MB有機シリーズ 100~150kg
尿素 15~20kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥

1回当たり

■土寄せ前

※肥料切れの早い硫安が良い

MリンPK
硫安

20~30kg
10~20kg

■開花時、収穫1ヶ月前頃より

Pフォスタ 500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

ダイコン、カブ、ニンジン

元肥

定植30日以上前に施肥

MリンPK 20~30kg
MB有機シリーズ 100~300kg
尿素 0~10kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥

1回当たり

■最後の間引き頃

MリンPK
硫安

10~20kg
0~20kg

■収穫1ヶ月前頃より

Pフォスタ 500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

サトイモ、ナガイモ、ゴボウ

元肥

定植30日以上前に施肥

MリンPK 20~40kg
MB有機シリーズ 100~150kg
尿素 20~30kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥

■追肥は土寄せを兼ねて2~3回行います

MリンPK
硫安

10~20kg
0~20kg

■収穫1ヶ月前頃より

Pフォスタ 500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

サツマイモ

元肥

定植30日以上前に施肥

MリンPK 30~40kg
MB有機シリーズ 70~90kg
尿素 5~10kg
硫酸マグネシウム 0~20kg

追肥

■収穫1ヶ月前頃より

MリンPK

20~40kg



アミビタA液肥(アクセル役)の作り方

材料

アミビタゴールドver5	20kg	} 全て混ぜ 合わせて 2~3日以上 熟成させる
サンレッド	300ml	
尿素	10~20kg	
水	100ℓ	

※トマト・イチゴ・メロン・スイカ等では、
尿素有0~10kgにする

使用方法

<カン水施肥>

(10a当たり)

10~20ℓ (5~10日おき)

<カン注施肥>

30~40ℓ (20~30日おき)

注意点

ボカシ肥は早く土壌になじませておかないと、
害虫が寄り付いたり、根菜類においては変形
する場合があります。

MB有機シリーズは作付けの1ヶ月前に施肥
しておくのがおすすめです。



※MB有機シリーズとは
MB動物有機ペレット、新ぼかし大将、
バクヤーゼKを指します。

豆 類

10a当たり

サヤエンドウ、インゲン

元肥

定植20日以上前に施肥

MリンPK 20~30kg
MB有機シリーズ 100~250kg
尿素 5~20kg
硫酸マグネシウム 0~20kg

追肥

1回当たり

■開花後、サヤが付き始める頃より7~15日おきに施肥します

MリンPK 20kg
★アミビタA液肥 20ℓ
硫安 10~20kg

ダイズ、エダマメ、ソラマメ

元肥

定植20日以上前に施肥

MリンPK 20~30kg
MB有機シリーズ 100~120kg
尿素 5~10kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥

1回当たり

■土寄せ時

MリンPK 10~20kg
※生育不良の場合 硫安 5~10kg

■開花時

MリンPK 10~20kg

■収穫前

MリンPK 10~20kg

葉茎類

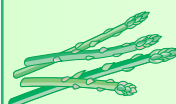
10a当たり

アスパラガス

元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK 20~40kg
MB有機シリーズ 300~500kg
尿素 20~30kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥

定植2年目以降

■収穫前に1回、収穫後または立茎後1ヶ月おきに2~3回施肥します。

MリンPK 20~30kg
硫安 20~30kg

※草勢が弱いときはアミビタA液肥を多め、尿素5~10kgを追肥する。
草勢が強いときはMリンPKを多め、アミビタA液肥を少なめに施肥する。

ニンニク

元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK 30~40kg
MB有機シリーズ 300~500kg
尿素 0~30kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥

■春先(3~5月頃)

MリンPK 20~30kg
硫安 20~40kg

■収穫1~2ヶ月前

Pフォスタ 500倍液 または
リーフアップN 500倍液 を 2~3日おきに葉面散布

※多雨の時は追肥で MリンPK 20~30kg

※乾燥の時はカン水で
アミビタゴールドver5 500倍液



MリンPK類は、雨が降る前にも追肥すると、軟弱徒長や裂果を軽減することができます。

葉菜類

10a当たり

ハクサイ、キャベツ ブロッコリー、レタス

元肥

定植10日以上前に施肥

MリンPK 20~30kg
MB有機シリーズ 200~300kg
尿素 20~40kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥

1回当たり

MリンPK
硫安

20kg
10~30kg

ハクサイ
キャベツ
レタス

■定植15日後と結球開始期
■肥料切れになると生育は回復しにくいので、早めに追肥します

ブロッコリー

■活着直後と花蕾が見え始めた頃
■側枝の花蕾を収穫する場合、頂花蕾収穫後にも追肥します

ホウレンソウ、コマツナ

元肥

定植10日以上前に施肥

MリンPK 20~40kg
MB有機シリーズ 150~200kg
尿素 10~20kg
硫酸マグネシウム 0~20kg

追肥

1回当たり

■生育状況を見て追肥(1~2回)

Pフォスタ
または
リーフアップN
を葉面散布

500倍液

500倍液

タマネギ

元肥

定植10日以上前に施肥

MリンPK 20~40kg
MB有機シリーズ 150~200kg
尿素 10~20kg
硫酸マグネシウム 0~20kg

追肥

1回当たり

■肥大初期

MリンPK
硫安

20~30kg
20~30kg

■肥大後期(倒伏前)

MリンPK

20~30kg

ネギ、ニラ

元肥

定植10日以上前に施肥

MリンPK 20~30kg
MB有機シリーズ 200~300kg
尿素 10~20kg
硫酸マグネシウム 0~20kg



追肥

1回当たり

ネギ

追肥は土寄せを兼ねて行います(2~3回)

MリンPK
尿素

20kg
10~20kg

ニラ

収穫後に追肥します

MリンPK
硫安

20~30kg
10~20kg

■葉色向上

リーフアップN

500~600倍液

■軟弱生育時

Pフォスタ

500~600倍液

※2~3日おきに葉面散布し、効果が見えるまで連用する

花卉類

10a当たり

花卉類全般

元肥

MリンPK 30~40kg
MB有機シリーズ 100~200kg
定植 15日以上前 尿素 10~20kg
硫酸マグネシウム 0~20kg

追肥

1回当たり

■生育調整

MリンPK液肥の素
アミビタ類

2~3kg
20~30kg

■軟弱徒長対策

Pフォスタ

500倍液

穀物

10a当たり

スイートコーン		追肥	
元肥	定植10日以上前に施肥	1回当たり	■本葉6~8枚の頃と、雄穂出現期に追肥します。
	MリンPK 30~40kg		MリンPK 20kg
	MB有機シリーズ 150~300kg		硫安 20~30kg
	尿素 20~30kg		
	硫酸マグネシウム 0~20kg		■収穫一ヶ月前は、MリンPKのみを追肥します。
ムギ類		追肥	
元肥	定植15日以上前に施肥	1回当たり	■早春期
	MリンPK 20~40kg		MリンPK 20~30kg
	尿素 10~15kg		硫安 20~30kg
			■出穂20日前(穂肥)
			MリンPK 10~30kg
			硫安 10~20kg
			■出穂7~10日前(実肥)
			MリンPK 20~30kg
			硫安 10~20kg

果樹類

10a当たり

果樹類全般		追肥	
元肥	収穫終了後~落葉するまで	1回当たり	■開花前(着果促進)
	MリンPK 40~50kg		MリンPK 30~40kg
	MB有機シリーズ 200~400kg		
	■春肥		■新梢停止期(梅雨時期)
	MリンPK 15~30kg		MリンPK 40~50kg
	硫安 0~20kg		■肥大促進
			アミビタゴールドver5 10~20kg
			■着色期
			MリンPK 40~50kg
		※雨が続く場合は、2回施肥します。	
		さらにPフォスタ 400~500倍液を使用することで着色促進、糖度向上等に効果があります。	

注意点

MリンPKシリーズは、1袋で同じリン酸成分量の肥効となります。作業性や利便性を考慮して使い分けて下さい。



株式会社 ミズホ

<お申込みは...>

〒466-0807 名古屋市昭和区山花町64-1

TEL 052(763)4171(代) FAX 052(761)3771

URL <http://www.mizuho.to/> e-mail bio@mizuho.to



HP



ネットショップ



公式LINE



YouTube

※このカタログの内容は、2025年4月現在のものであり、内容については予告なく変更する場合があります。
※このカタログに記載されている会社名・製品名は登録商標または商標です。
※このカタログの著作権は弊社にあり、無断転写、転用を禁じます。

定価88円(税込)
PR.NO.MIZUHO-2504/1000<N>188E